

学校再開にあたって

おはようございます。3月の臨時休校から数えると、3か月ぶりによく学校を再開することができました。みなさんとうちで会うことができ、本当にうれしく思います。

学校再開に向けて、先生たちは新型コロナウイルス感染症対策をいろいろと考え準備をしてきました。「三密」を避けるために、教室の机のレイアウトを変えたり、昼の食堂と夜の給食もしばらくお休みします。学校行事のいくつかは後期に移しました。一方で、生徒のみなさんにも、感染予防のためにお願いしなければならぬことがあります。後ほど詳しい説明がありますが、私たちの学校が、安心・安全な場所であり続けるためにどうか協力してください。

さて、学校再開にあたりみなさんに是非お話ししたいことが3つあります。

ひとつ目は、香風高校が多様性を重んじる学校であることを改めて確認したいということです。新型コロナウイルスに対する感じ方は、ひとそれぞれ多様です。感染の恐怖から今も気持ちが落ち着かない人もいるでしょう。逆に、あまり心配しても仕方がないと思っている人もいることでしょう。そんな多様な感じ方をする人たちが、今日から共に学校生活を送ることになります。自分は「これくらい大丈夫」と思っているけど、自分とは異なる感じ方をしている人がいることを想像してほしいと思います。多様性を重んじるということは、様々な感じ方や考え方が「ある」ということに気づくだけでなく、どうしたらみんなが安心して過ごせるかを考え、行動できることです。

2つ目は、差別や偏見を許さないことです。感染した人、医療機関や介護施設、物流やスーパーで働く人やその家族に対する差別が、実際に起きていることはとても悲しいことです。差別や偏見は、無知と不安の裏返しです。正しい情報を知り、冷静に判断し行動してください。

3つ目です。学校が長い間休みだったために学校に来ることが不安な人、自粛生活のためにご家族の仕事やみなさんのアルバイトが減ってこれからの生活が心配な人、理由ははっきりわからないけれどイライラしたり、急に泣きたい気持ちになったりする人もいるかもしれません。このような気持ちになることは、今の状況では当然のことです。私からみなさんへのお願いは、その気持ちをひとりで抱え込まずに、だれかに相談してくださいということです。相談とまでいなくても、だれかに自分の気持ちをちょっと打ち明けてください。先生たちはもちろんみなさんの話を聞く準備があります。どんな小さなことでも、遠慮なく話をしてください。

あさっての水曜日から平常授業となります。はじめの1、2週間は無理をせず、ゆっくりとしたペースで過ごして学校生活に慣れていってください。そして、活気ある高校生活をみんなで少しずつ取り戻していきましょう。

令和2年6月1日

兵庫県立西宮香風高等学校

校長 石川 照子